



Topics  
1

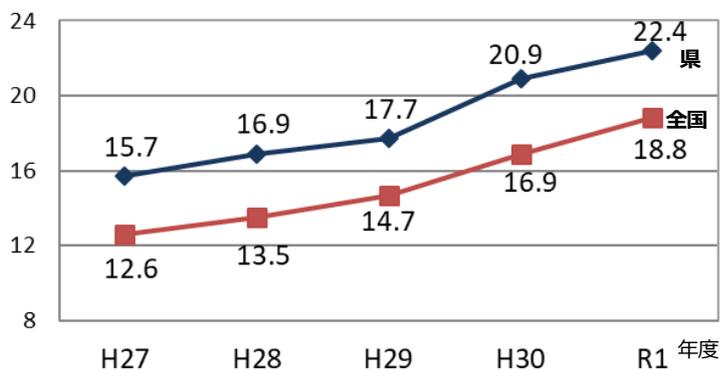
## 令和元年度児童生徒の生徒指導上の諸課題に関する調査の結果について

「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」（文部科学省）の結果が10月22日に公表されました。本県の状況は以下のとおりです。

### ▶ 調査結果の概要

#### ■ 小・中学校における不登校児童生徒数（国公立私立学校）

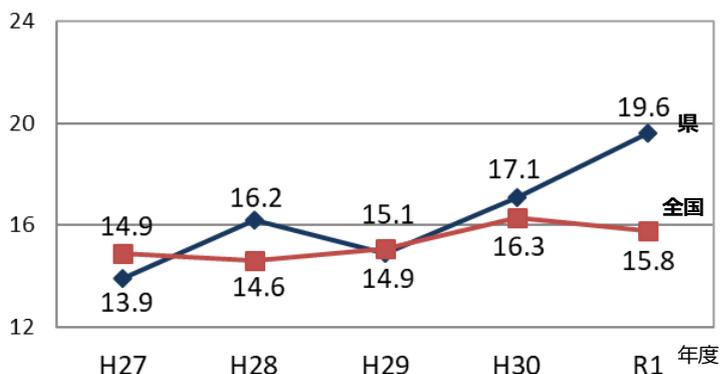
※数値は、1,000人あたりの不登校児童生徒数（人）



- ・小・中学校における1,000人あたりの不登校児童生徒数は22.4人で、平成30年度から1.5ポイント増加しています。
- ・中学校は教科のタテ持ちや教科間連携など、教員が組織的に協働する取組が定着しつつあり、不登校生徒数の減少につながったと考えられます。今後こうした取組をさらに充実させていく必要があります。
- ・不登校は、多くの場合、複数の要因が複雑に絡み合った結果、登校することができなくなったものと考えられ、個に応じた早期の対応と支援が必要となります。

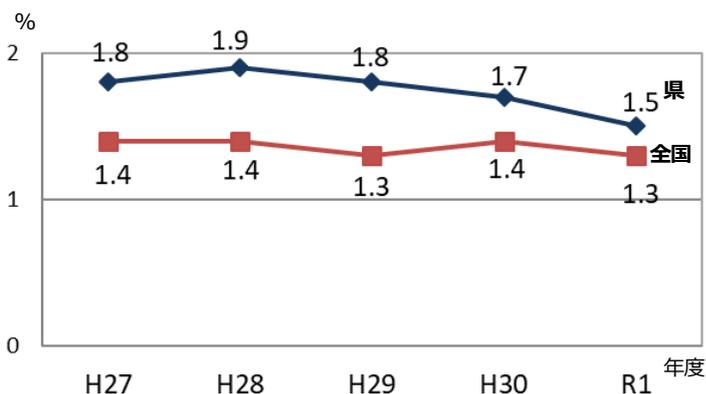
#### ■ 高等学校における不登校生徒数（国公立私立学校）

※数値は、1,000人あたりの不登校生徒数（人）



- ・高等学校における1,000人あたりの不登校生徒数は平成30年度より2.5ポイント増加しました。
- ・不登校の要因は、学業不振や学校での人間関係、家庭環境など複数の要因が絡み合っている場合が多いです。
- ・中学校の段階で不登校を経験した生徒が高等学校に入学している現状をふまえ、中学校からの確実な引き継ぎと個に応じた支援が必要となっています。

#### ■ 高等学校における中途退学率（国公立私立学校）

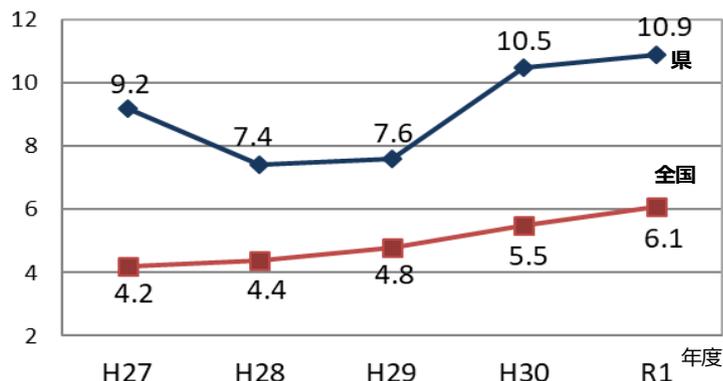


- ・高等学校における中途退学率は1.5%となり、平成30年度から0.2ポイント減少しました。全国平均との差も縮まっており、一定の改善傾向が見られます。
- ・中途退学者数の減少傾向は、各学校において、生徒の社会的自立を目指して、中途退学にならないよう支援していこうとする丁寧な取組が進んだ結果と捉えています。

## ▶ 調査結果の概要のつづき

### ■ 小・中・高等学校における暴力行為の発生件数（国公立学校）

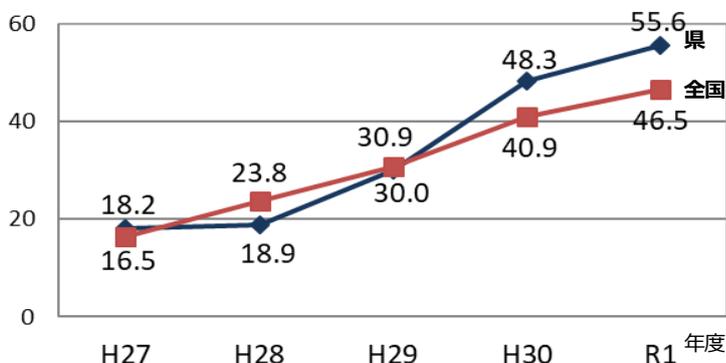
※数値は、1,000人あたりの発生件数（件）



- ・小・中・高等学校における暴力行為の1,000人あたりの発生件数は、平成30年度からわずかに増加が見られました。
- ・人間関係の構築や感情のコントロールが苦手な児童生徒が些細なことから暴力行為を起こすケースが多く、発達上の課題など配慮を要する児童生徒への教職員の十分な理解と支援が必要となります。

### ■ 小・中・高・特別支援学校におけるいじめの認知件数（国公立学校）

※数値は、1,000人あたりの認知件数（件）



- ・小・中・高・特別支援学校における1,000人あたりのいじめの認知件数は、55.6件で、過去最高の数値となりました。
- ・学校の積極的な取組が進んだことから、いじめを早期に認知できているものと考えられます。
- ・認知されたいじめの多くは、冷やかしかからかいといった内容である一方、重篤ないじめも数件発生しており、いじめの防止に向けた取組をより一層推進することが重要です。

## 教職員の皆さまへ

県教育委員会では、不登校や中途退学などの生徒指導上の諸課題を令和5年度までに全国平均まで改善することを目指して取組を進めています。令和元年度の調査結果では、どの項目も全国値を上回る数値となりましたが、学校別に見ると全国平均まで改善することができている学校が多く、一定の成果が見られています。

各学校の教職員の皆さまには、今回の調査結果をふまえ、特に下記の点に留意して、児童生徒への支援のより一層の充実を図っていただくようお願いします。

- 不登校については、全ての子どもたちが安心して過ごせる魅力的な学校・学級づくりを進めることで、未然防止に努めることが重要です。また、学校に来づらくなった児童生徒に対しては、学校内の別室や学校以外の場所を活用して、居場所づくりや学習支援等、一人一人に応じた適切な支援をお願いします。
- 暴力を受けてつらい思いをする児童生徒を生じさせないよう、学校全体で組織的な支援をお願いします。特に、繰り返し暴力行為が発生している学校においては、早期に市町村教育委員会等と連携し、暴力行為の再発防止策の徹底をお願いします。
- いじめ問題に対しては、早期にいじめを発見し対応することによって、重篤化させないことが重要です。被害を受けた児童生徒の心情に寄り添い、いじめの見逃しゼロを目指して、より一層の取組をお願いします。
- 生徒指導上の諸課題の改善に向け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の外部専門人材を積極的に活用し、配慮を必要とする児童生徒について、個別支援シート等を用いた校内支援会等を通じて組織的に支援するとともに、校種間での引き継ぎを含めた情報共有を徹底し、抜かりのない支援をお願いします。



調査結果の詳細は人権教育・児童生徒課ホームページをご覧ください。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310801/2020091700311.html>



人権教育・児童生徒課 いじめ問題対策担当  
 TEL : 088-821-4722

# 授業づくり講座を通して、共に学び授業力を高め合っています

県教育委員会では、子どもたちの学力の向上に向けて、教員同士が主体的に学び合い高め合う仕組みをつくり、授業力の向上を図る取組を行っています。その取組の一つとして、学習指導要領に掲げられた目標の実現に向けて、各教科等における授業づくりのプロセスを学ぶ「授業づくり講座」を、平成30年度から行っています。今年度は、国語、社会、算数・数学、理科、外国語、特別の教科 道徳、複式教育について、教員が「いつでも・どこでも・だれでも」学べるよう、県内に43の拠点校を設けて開催しています。本講座を通して日常的に授業研究に取り組む風土づくりを行い、自ら学び続け、共に高め合う教員を育成していきます。

## 授業づくり講座（算数） 拠点校 高知市立潮江南小学校

子どもが見方・考え方を働かせて、深い学びに迫るために、

### Before

#### 教師の課題

- 一部の児童の発言で授業を進めてしまう。（教師のシナリオ）
- 必要以上に手助けしてしまう。（主体性を奪う）
- 単元全体ではなく本時のみの授業を構想してしまう。
- 多様な意見を出すだけで終わってしまう。

### After

## 「何を、どう変える？」 学習のゴールから深い学びを描く

- 1 付けたい力は何か 〈資質・能力を具体化する〉
- 2 価値付けたい児童の姿とは  
〈ゴールに向けて働かせた見方・考え方を明らかにする〉
- 3 子ども主体で深い学びに迫る学習過程をどう描くか  
〈数学的活動を充実させる〉
- 4 どのような見方・考え方を働かせるのか  
〈見方・考え方の系統性を意識して学びをつなぐ〉

資質・能力を育成する授業づくりに向けて

領域・単元を超えて見方・考え方の成長をつなぐ

1年 A「数と計算」領域  
「どのようにかわるかな」  
変化する数量の関係を捉える！

なにが かわったのかな？  
どのように かわったのかな？  
きまりを みつけたよ！  
おはなしするね  
みつけたきまりが つかえたよ！



#### 関数的な見方の素地

4年 C「変化と関係」領域  
「変わり方調べ」  
数学的に考えるプロセスを学ぶ！

一方が決まれば もう一方がただ一つ決まる関係にあるものは？  
どんな関係があるのかな？  
変化や対応の特徴や傾向を調べる  
見付けたきまりは、確かなものかな？  
いつでも使える？  
見付けたきまりを使って、問題解決に生かす

9月29日の本講座にて、  
第3時と第4時を授業提案

#### 関数の考えを育む

6年 C「変化と関係」領域  
「比例」  
問題解決に生かす資質・能力を伸ばす！  
～事象の変化と数量の関係の把握～

コラボ！ 他校教員も提案  
6年 B「図形」領域  
「円の面積の求め方」  
円の面積はこの長さで決まる？



#### 関数の考えを育む

ゴールの姿から算数の本質に迫るプロセスを描く

【見方】 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目する  
【考え方】 表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する  
事象⇄図・表・式・グラフ  
見方・考え方を繰り返し働かせ、身の回りの事象の変化における数量間の関係を把握して、それを問題解決に生かす力を身に付ける！

## 数学的に考える資質・能力の育成

### 参会者の声～教材研究会～

系統立てることで、領域が違う教材も関連していることが分かりました。  
児童の姿を具体的にしっかりと考えることで、指導の軸がぶれずにゴールへ向かうことができると思いました。

### 参会者の声～授業研究会～

見方・考え方を深めていく必然性や子どもの学びの質が高まる様子が見られました。先生方が子どもたちに常に問い返して、子どもの言葉で授業が進んでいる姿が勉強になりました。

子どもたちが問いをもち、学びが高まるような授業にするためには、仕掛けや子どものつぶやきを拾うことが大切だと思いました。

以下の日程で春季セミナーを開催します。このセミナーでは、資質・能力を育成する授業づくりや公開授業研究会の実践モデルを参観することができます。ぜひご参加いただき、高知の授業の未来について一緒に考えましょう。なお、これまでの教材研究会・授業研究会の実践研究レポートについては、下のQRコードから見るができます。

#### 【春季セミナー開催日】

令和3年1月15日（金） 四万十市立中村中学校 1月22日（金） 高知市立潮江東小学校  
1月28日（木） 南国市立香長中学校 2月5日（金） 安芸市立安芸第一小学校



小中学校課ホームページはこちら。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310301/>



小中学校課 教育支援担当  
TEL : 088-821-4735

## 「厳しい環境にある子どもたち」を社会教育の力で支えていこう

10月21日に、教育委員と社会教育委員による意見交換会を開催しました。

本県では、第2期高知県教育振興基本計画において取組の方向性の一つに位置づけていた「厳しい環境にある子どもたちへの支援」について、地域全体で子どもたちを見守る体制づくりなどを進めてきました。令和2年3月に策定した第3期高知県教育振興基本計画においても、引き続き「厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実」を進めています。

こうした中、県社会教育委員会では、厳しい環境にある子どもたちを社会教育の視点から支えていくための方策について昨年度より協議を重ねていただきました。そして、県社会教育委員会から10月に提言をいただき、その内容を教育委員に報告し意見交換を行いました。教育委員の方々からは、「循環型社会において、企業でも直接的に子どもたちを支える役割を担うことが必要ではないか」、「地域の中に資源があることがわかった。高知県の強みでもある資源を繋ぐ地域協働の質が向上すれば、より発展していくのではないか」などの意見がありました。今後も、厳しい環境にある子どもたちのために、既存の事業の拡充のほか、本提言を基に事業化に向け検討を進めていく予定です。なお、提言は生涯学習課のホームページよりダウンロードできます。

URL : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401/shakaikyokuinkai.html>

### 提言のテーマ

## 地域全体で子どもたちの成長を支える社会教育のあり方について ～「厳しい環境にある子どもたち」を社会教育の視点から支える方策～

### 4つの推進方策

#### 「家庭教育支援」のサポート

- 親子体験活動機会の拡充
- 民間団体と協働した活動の促進



#### 「生活・文化・自然体験の機会」のサポート

- 社会教育関係団体等に対する活動支援
- 生活体験・自然体験型学習の充実と人材の育成

#### 「多様な居場所づくり」のサポート

- 県内青少年教育関係団体の活動支援強化
- 「子ども食堂」等、子どもの支援団体への教育的支援
- 気軽に相談できるカフェなどの場づくりやネットワーク作りへの支援

#### 「地域づくり・つながりづくり」のサポート

- 県や市町村の社会教育主事・社会教育士の適正配置
- 地域学校協働活動におけるコーディネータ力の向上
- 市町村の社会教育委員の活動の活性化とその支援
- 社会教育実践交流会の継続・発展

## 令和2年度高知県社会教育実践交流会を開催します！

県教育委員会では、平成27年度より、社会教育関係者・団体等の活動を活性化し、関係者間のネットワーク化を進め、県全体の社会教育振興を図るため、高知県社会教育実践交流会を開催しています。昨年度は、24の実践事例の発表があり、228人の参加がありました。

6回目となる本年度は、島根県益田市教育委員会 大畑 伸幸 氏等をお招きし、島根県益田市の取組である、「人づくり」、「地域づくり」について学びます。特に、中高生が地域の大人と出逢い対話することで、地域での活動につなげる「益田版カタリ場」の実践から「地域づくり」のヒントを得るとともに、県内の実践事例に学びます。

参加につきましては、生涯学習課ホームページより申込書をダウンロードしていただき、メールまたはFAXにてお申し込みください。

### 令和2年度高知県社会教育実践交流会

#### 日時

令和3年1月16日(土) 12:30~16:40

#### 場所

土佐市複合文化施設つな一で  
(土佐市高岡町乙 3451-1)

<昨年度の実践交流会の様子>



生涯学習課ホームページはこちら。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/310401/>



生涯学習課 社会教育支援担当  
TEL : 088-821-4911

高知国際中学校・高等学校が、四国で初めて国際バカロレア機構（International Baccalaureate Organization）のMYP（Middle Years Programme ミドル・イヤーズ・プログラム、中等教育プログラム）認定校として、令和2年11月3日付けで認定されました。

高知国際中学校・高等学校では、平成30年にMYP候補校となり、MYPの指導・評価に基づく教育を実践しています。MYPは、11歳～16歳向けの国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムであり、多様な文化の理解と尊重の精神を通じ、探究心、知識、思いやりに富んだ、国際的な視野をもって行動できる若者の育成を目的としています。

11月11日には、高知国際中学校の3年生2名が、教育長を訪問し、MYP認定校として認定されたことを報告してくれました。

また、令和3年4月に開校する高知国際高等学校は、今年度内のDP（Diploma Programme ディプロマ・プログラム）認定を目指しています。DPは16歳から19歳向けのプログラムとなっており、DPの所定のカリキュラムを2年間履修し、最終試験を経て所定の成績を収めると、国際的に認められ、国内外の大学入試において活用できる大学入学資格（国際バカロレア資格）が与えられます。

■ 県教育長へMYP認定報告 R2.11.11 ■



国公立学校におけるIB認定校の状況（令和2年11月3日現在 高等学校振興課調べ）



舞台は、地球。  
Think Globally, Act Locally  
高知国際中学校・高等学校



文部科学省 IB 教育推進コンソーシアムのホームページはこちら。  
<https://ibconsortium.mext.go.jp/>



高等学校振興課 振興担当  
TEL : 088-821-4727

## 令和2年度「志・とさ学びの日」関連事業 インターネットミュージアム

本県では、平成22年11月22日に開催した全国生涯学習フォーラム高知大会において取りまとめた「教育宣言」に基づき、毎年11月1日を高知県教育の日「志・とさ学びの日」と制定しています。

すべての県民が、教育について理解と関心を深め、高い志を持つ子どもたちを育み、ともに学びあう意識を高めるとともに、一人一人が学ぶ目的や喜びを自覚し、生涯にわたって学び続ける風土をつくりあげていくための取組として、今年度は「**こうちミュージアムネットワーク**」の協力により、皆さまに、高知県内の博物館・資料館・美術館・文学館等のあらゆる学びを楽しく学べる動画を配信することになりました。

ぜひ、この機会に高知県内のあらゆる学びに触れてみませんか？詳しくは特設ページをご覧ください。

- ◆ 期 間：令和2年11月1日から令和3年3月31日まで
- ◆ 内 容：高知県内の「歴史・民俗・美術・文学・動物・植物等」のあらゆる学びを楽しく学べる動画を3月末まで順次配信
- ◆ 特設ページ開設 → <https://www.kochi-mn.net/志-学びの日-ポータルサイト/>
- ◆ 問合せ先：こうちミュージアムネットワーク事務局（高知県立高知城歴史博物館内）  
電話 088-871-1629

「とびら」の向こうには、  
あらゆる学びが待っている



こうちミュージアムネットワーク 検索



「志・とさ学びの日」については、こちらをご覧ください。  
<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/>



問い合わせ 教育政策課 市町村・学校組織支援担当  
TEL : 088-821-4568

### お知らせ

## 教育改革特別番組「高知県教育の新たなカタチ～デジタル化で何が変わる？～」

第2期教育大綱及び第3期教育振興基本計画に基づく取組に関する情報を提供することにより、本県の教育課題の解決に向けた取組に対する県民の理解と協力を得るために、**11/28(土)**（再放送**12/12(土)**）に「教育改革特別番組」（KUTV テレビ高知）を放送します。

県内の先生方や教育関係者の皆さまには、「高知県教育の新たなカタチ」を確認するためにも見ていただきたい内容ですので、ぜひご覧ください。また、児童生徒や保護者の皆さまにもお知らせしていただければ幸いです。



「画像提供：テレビ高知」

### ＜教育改革特別番組の内容＞：30分番組

- 第1章** 6つの基本方針と2つの横断的取組
- 第2章** デジタル社会に向けた教育の推進～課題と目標～
- 第3章** 具体的な取組（1人1台端末の活用、プログラミング教育、情報教育推進リーダー養成、先端技術を活用した教育、高知国際高等学校の開校、遠隔教育、ICTを活用した働き方改革）
- 第4章** 県民の皆さまへのメッセージ（濱田知事）

## 行事予定

（12月、1月の主なもの）※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、予定が変更する場合があります。

### 12月

- 2日 第2回高知県総合教育会議（高知市 高知会館 15:30～）
- 12日 留学フェア2020（高知市 高知共済会館 13:30～）
- 13日 第10回科学の甲子園高知県大会開会式（高等学校）  
（高知市 オーテピア高知図書館 10:00～）

### 1月

- 11日 国際バカロレア教育推進シンポジウム in 高知  
（高知市 オレンジホール 13:00～）
- 16日 高知県社会教育実践交流会  
（土佐市 土佐市複合文化施設つな一で 12:30～）

### 1月

- 19日 オリンピック・パラリンピック教育研修会（実践報告会）  
（高知市 PM 予定）
- 20日 第3回高知県教育振興基本計画推進会議  
（高知市 高知共済会館 10:00～）
- 28日 いじめ問題連絡協議会  
（高知市 クラウンパレス新阪急 15:00～）
- 29日 共同学校事務室における働き方改革実践報告会  
（高知市 県教育センター 13:30～）
- がん教育推進研修会  
（高知市 高知会館 PM 予定）

＜発行者＞ 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト : <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

